

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-26-01 号

平成 26 年 6 月 12 日発行

プランクトン及び貝毒検査を 6 月 5 日～12 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

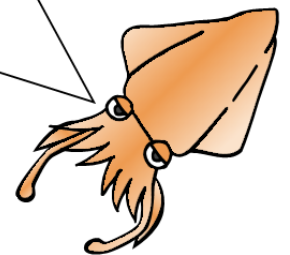
【概況】・貝毒検査(6 月 12 日)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。

・貝毒の原因となるプランクトンも低密度でした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)	H26.6.9	H26.6.5	
地点 (St.)	香住	居組	
水温 (°C)	19.9	20.3	
塩分	33.7	34.2	
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	ND*	
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	10	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/ℓ)	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0

*: ND とは、検出限界以下のことです。



<規制の基準>

※麻痺性貝毒:4 マウスユニット/g
下痢性貝毒:0.05 マウスユニット/g } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上
アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・7月7日の週に原因プランクトンの定期調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報 TKD-26-02 号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 西川 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・水田 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>